

平成30年度

新川広域圏事務組合
一般会計決算審査意見書

新川広域圏事務組合監査委員

令和元年6月26日

新川広域圏事務組合

理事長 村椿 晃 様

新川広域圏事務組合
監査委員 米 澤 憲二郎

新川広域圏事務組合
監査委員 加 藤 好 進

平成30年度新川広域圏事務組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された平成30年度新川広域圏事務組合一般会計の歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、その結果について意見を提出します。

平成30年度新川広域圏事務組合一般会計決算審査意見書

1 審査の対象

- (1) 平成30年度 新川広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 附属書類
 - 平成30年度 新川広域圏事務組合歳入歳出決算事項別明細書
 - 平成30年度 新川広域圏事務組合実質収支に関する調書
 - 平成30年度 新川広域圏事務組合財産に関する調書

2 審査の期日と場所

- 期日 令和元年6月26日
- 場所 新川広域圏事務組合 事務局会議室

3 審査の方法

審査は、平成30年度新川広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

5 決算収支状況

平成30年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

歳入 18億2,513万4千円（予算対比97.6%、前年度対比99.0%）

歳出 17億5,980万3千円（予算対比94.1%、前年度対比98.9%）

この差引額（形式収支）6,533万1千円から、翌年度に繰り越すべき財源27万3千円を差し引いた実質収支は6,505万8千円の黒字となっている。当年度実質収支から

前年度実質収支を差し引いた当年度の単年度収支は423万8千円の黒字となっている。

前年度決算額と比較して歳入で1,890万6千円（1.0%）、歳出で1,875万3千円（1.1%）それぞれ減となっている。増減の主なものは、平成29年度に最終覆土工事が終了したことによる減、平成27年度に実施したエコぽ〜と焼却炉大規模補修の公債費の償還が開始したことによる増などである。

決 算 収 支 状 況

（単位：円）

年度	歳入 A	歳出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
30年度	1,825,134,290	1,759,802,415	65,331,875	273,000	65,058,875	60,820,203	4,238,672
29年度	1,844,041,109	1,778,555,906	65,485,203	4,665,000	60,820,203	74,372,594	△13,552,391
増減	△18,906,819	△18,753,491	△153,328	△4,392,000	4,238,672	△13,552,391	17,791,063

（1）歳 入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算現 額対比	調定額 対比
30年度	1,870,509,000	1,839,090,143	1,825,134,290	0	13,955,853	97.6	99.2
29年度	1,888,029,000	1,857,996,962	1,844,041,109	0	13,955,853	97.7	99.3

① 収入状況

予算現額に対する収入割合は97.6%であり、前年度の収入済額と比較して、1,890万6千円、1.0%の減となっている。

収入の主なものは、分担金及び負担金で、収入額は12億5,695万6千円で全体の68.9%を占めている。使用料及び手数料が2億9,108万2千円で15.9%、県支出金が351万6千円で0.2%、財産収入が308万9千円で0.2%、繰越金が6,082万円で3.3%、諸収入が4,147万円で2.3%、組合債が1億6,820万円で9.2%となっている。

また、調定額に対する収入割合は99.2%で、収入未済額は1,395万6千円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

収 入 状 況

(単位：円)

区分	予算現額	調定額	収 入 済 額				不納 欠損額	収入 未済額
			金額	構成比	予算対比	調定対比		
1. 分担金及び負担金	1,256,956,000	1,256,956,000	1,256,956,000	68.9%	100.0%	100.0%	0	0
2. 使用料及び手数料	282,135,000	291,082,163	291,082,163	15.9%	103.2%	100.0%	0	0
3. 県支出金	3,516,000	3,516,000	3,516,000	0.2%	100.0%	100.0%	0	0
4. 財産収入	3,089,000	3,089,000	3,089,000	0.2%	100.0%	100.0%	0	0
5. 繰越金	60,820,000	60,820,203	60,820,203	3.3%	100.0%	100.0%	0	0
6. 諸収入	31,593,000	55,426,777	41,470,924	2.3%	131.3%	74.8%	0	13,955,853
7. 組合債	232,400,000	168,200,000	168,200,000	9.2%	72.4%	100.0%	0	0
計	1,870,509,000	1,839,090,143	1,825,134,290	100.0%	97.6%	99.2%	0	13,955,853

② 財源構成

歳入総額を分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰越金、諸収入からなる自主財源と、県支出金、組合債からなる依存財源に分類してみると、自主財源は16億5,341万8千円、依存財源は1億7,171万6千円になっており、その構成比は、自主財源90.6%(前年度85.9%)、依存財源9.4%(前年度14.1%)と、自主財源が構成比で前年度から4.7ポイント高くなっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源68.9%(前年度64.2%)、特定財源31.1%(前年度35.8%)と一般財源の占める割合が4.7ポイント高くなっている。

過去2ヵ年の財源別状況

(単位：千円)

	決算額		構成比率		前年度対比	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
自主財源	1,653,418	1,584,925	90.6%	85.9%	104.3%	104.9%
依存財源	171,716	259,116	9.4%	14.1%	66.3%	419.1%
計	1,825,134	1,844,041	100.0%	100.0%	99.0%	117.3%
一般財源	1,256,956	1,182,973	68.9%	64.2%	106.3%	104.3%
特定財源	568,178	661,068	31.1%	35.8%	86.0%	150.6%

第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
30年度	1,256,956,000	1,256,956,000	1,256,956,000	0	0	100.0%	100.0%
29年度	1,178,873,000	1,178,873,000	1,178,873,000	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は12億5,695万6千円で、前年度から7,808万3千円、6.6%増加している。増加の主なものは、組合経常費分担金1,625万6千円、エコぽ〜と分担金1億3,053万2千円である。

一方、減少の主なものは、宮沢清掃センター分担金7,780万2千円である。

歳入総額に占める割合は68.9%(前年度63.9%)で、前年度から5.0ポイント高くなっている。

収入済額の内訳は、各市町からの分担金12億4,324万1千円(98.9%)、救急医療負担金1,371万5千円(1.1%)となっている。分担金及び負担金の目的別収入状況は、別表第1のとおり、分担金収入明細書は、別表第2のとおりとなっている。

第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
30年度	282,135,000	291,082,163	291,082,163	0	0	103.2%	100.0%
29年度	278,981,000	281,986,142	281,986,142	0	0	101.1%	100.0%

収入済額は2億9,108万2千円で、前年度から909万6千円、3.2%増加している。増加の主なものは、ごみ袋等交付手数料898万8千円となっている。歳入総額に占める割合は15.9%(前年度15.3%)で、前年度から0.6ポイント高くなっている。

収入済額の主な内訳は、斎場使用料1,591万9千円、ごみ処理手数料1億267万3千円、ごみ袋等交付手数料1億7,150万4千円、し尿処理手数料74万3千円等となっている。

第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
30年度	3,516,000	3,516,000	3,516,000	0	0	100.0%	100.0%
29年度	3,516,000	3,516,000	3,516,000	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は351万6千円で、前年度からの増減はない。歳入総額に占める割合は0.2%（前年度0.2%）で、前年度と同ポイントとなっている。

収入済額の内訳は、病院群輪番制病院運営費補助金351万6千円となっている。

第4款 財産収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
30年度	3,089,000	3,089,000	3,089,000	0	0	100.0%	100.0%
29年度	2,235,000	2,234,706	2,234,706	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は308万9千円で、前年度から85万4千円、38.2%増加している。歳入総額に占める割合は0.2%（前年度0.1%）で、前年度から0.1ポイント高くなっている。

収入済額の内訳は、ふるさと市町村圏基金運用利子308万9千円となっている。

第5款 繰越金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
30年度	60,820,000	60,820,203	60,820,203	0	0	100.0%	100.0%
29年度	78,472,000	78,472,594	78,472,594	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は6,082万円で、歳入総額に占める割合3.3%（前年度4.3%）で、前年度から1.0ポイント低くなっている。

収入済額の内訳は、平成29年度繰越金6,082万円となっている。

第6款 諸収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
30年度	31,593,000	55,426,777	41,470,924	0	13,955,853	131.3%	74.8%
29年度	27,852,000	57,314,520	43,358,667	0	13,955,853	155.7%	75.7%

収入済額は4,147万円で、前年度から188万7千円、4.4%減少している。

歳入総額に占める割合は2.3%(前年度2.3%)で、前年度と同ポイントとなっている。

収入済額の内訳は、エコぼ〜と燃料代1,684万6千円、磁性物売却代金1,408万9千円、アルミ売却代金670万3千円となっている。

収入未済額は、平成20年度の宮沢清掃センターの磁性物売却代金である。

第7款 組合債

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
30年度	232,400,000	168,200,000	168,200,000	0	0	72.4%	100.0%
29年度	318,100,000	255,600,000	255,600,000	0	0	80.4%	100.0%

収入済額は1億6,820万円で、前年度から8,740万円、34.2%減少している。

歳入総額に占める割合は9.2%(前年度13.9%)で4.7ポイント低くなっている。

収入済額の内訳は、宮沢清掃センタービニ・プラ類専用ライン増設工事1億6,820万円となっている。

(2) 歳 出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	1,870,509,000	1,759,802,415	273,000	110,433,585	94.1%
29年度	1,888,029,000	1,778,555,906	4,665,000	104,808,094	94.2%

① 支出状況

予算現額に対する執行率は94.1%であり、前年度の94.2%から0.1ポイント低くなっている。支出済額は17億5,980万3千円で、前年度から1,875万3千円、1.1%減となっている。

減少の主なものは、宮沢清掃センター管理費1億3,970万8千円などである。一方、増加の主なものは、エコぽ〜と管理費2,374万5千円、公債費元金9,162万1千円などである。

決算額を性質別（構成比）にみると、義務的経費では、人件費で2億4,492万6千円（13.9%）、扶助費172万5千円（0.1%）、公債費3億6,637万円（20.8%）で、義務的経費全体では6億1,302万円となり、決算総額の34.8%を占めている。投資的経費は、普通建設事業費2億5,091万2千円で、決算総額の14.3%を占めている。その他の経費では、物件費で7億6,064万6千円（43.2%）、維持補修費で8,625万円（4.9%）、補助費等で4,897万5千円（2.8%）、その他の経費全体では8億9,587万円となり、決算総額の50.9%を占めている。

性質別経費の内訳を前年度と比較すると、義務的経費では人件費で660万7千円、2.8%増、扶助費で72万円、29.4%減、公債費で8,996万4千円、32.5%増となっており、義務的経費全体では、9,585万1千円、18.5%増となっている。投資的経費では、1億1,007万8千円、30.5%減となっている。その他の経費では物件費で1,616万3千円、2.2%増、維持補修費で1,938万3千円、18.3%減、補助費等で130万6千円、2.6%減、その他の経費全体では、452万6千円、0.5%減となっている。

歳出性質別経費比較

(単位：円)

区分	30年度	29年度
義務的経費	613,020,755	517,169,374
投資的経費	250,911,540	360,990,000
その他経費	895,870,120	900,396,532
合計	1,759,802,415	1,778,555,906

②支出の構成

支出状況は、次の表のとおりである。

支 出 状 況

(単位：円)

区分	予算現額	支出済額			翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比	執行率		
1. 議会費	1,571,000	983,649	0.1%	62.6%	0	587,351
2. 総務費	94,621,000	91,832,347	5.2%	97.1%	273,000	2,515,653
3. 衛生費	1,404,928,000	1,300,616,686	73.9%	92.6%	0	104,311,314
4. 公債費	366,389,000	366,369,733	20.8%	99.9%	0	19,267
5. 予備費	3,000,000	0	0.0%	0.0%	0	3,000,000
計	1,870,509,000	1,759,802,415	100.0%	94.1%	273,000	110,433,585

第1款 議会費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	1,571,000	983,649	0	587,351	62.6%
29年度	1,574,000	1,202,087	0	371,913	76.4%

支出済額は98万4千円で、前年度から21万9千円、18.2%の減となり、歳出総額に占める割合は0.1%で前年度と同ポイントとなっている。

不用額は、58万8千円で、前年度から21万5千円、57.9%の増であり、予算現額に対する執行率は62.6%で、前年度から13.8ポイント低くなっている。

第2款 総務費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	94,621,000	91,832,347	273,000	2,515,653	97.1%
29年度	83,897,000	82,372,155	0	1,524,845	98.2%

支出済額は9,183万3千円で、前年度から946万円、11.5%の増となり、歳出総額に占める割合は5.2%で前年度から0.6ポイント高くなっている。

支出済額の主なものは、一般管理費8,865万1千円(862万9千円増)、企画費308万9千円(85万4千円増)、監査委員費9万3千円(2万3千円減)となっている。

翌年度繰越額27万3千円を差し引いた不用額は、251万6千円で、前年度から99万1千円、65.0%の増であり、予算額に対する執行率は97.1%で、前年度から1.1ポイント低くなっている。

第3款 衛生費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	1,404,928,000	1,300,616,686	0	104,311,314	92.6%
29年度	1,522,713,000	1,418,575,895	4,665,000	99,472,105	93.2%

支出済額は13億61万7千円で、前年度から1億1,796万円、8.3%の減となり、歳出総額に占める割合は73.9%で前年度から5.9%ポイント低くなっている。

支出済額の主な内訳は、救急医療対策費4,219万9千円(増減なし)、西部斎場管理費3,852万3千円(161万6千円増)、東部斎場管理費2,797万5千円(3万3千円減)、エコぼ〜と管理費4億2,684万4千円(2,374万5千円増)、宮沢清掃センター管理費5億3,230万7千円(1億3,970万8千円減)、環境対策費1億5,635万3千円(454万6千円減)、新川一般廃棄物最終処分場管理費3,393万7千円(224万8千円減)、クリーンぼ〜と管理費4,248万2千円(321万6千円増)となっている。

不用額は、1億431万1千円で、前年度に比べ484万円、4.9%の増であり、予算額に対する執行率は92.6%で、前年度から0.6ポイント低くなっている。

不用額の主なものは、宮沢清掃センター管理費9,211万9千円、エコぼ〜と管理費524万4千円である。

第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	366,389,000	366,369,733	0	19,267	99.9%
29年度	276,845,000	276,405,769	0	439,231	99.8%

支出済額は3億6,637万円で、前年度から8,996万4千円、32.5%の増となり、歳出総額に占める割合は20.8%で前年度から5.3ポイント高くなっている。

支出済額の内訳は、元金3億5,211万1千円(9,162万1千円増)、利子1,425万9千円(165万7千円減)となっている。

不用額は、2万円で、前年度から42万円、95.6%の減であり、予算額に対する執行率は99.9%で前年度から0.1ポイント高くなっている。

第5款 予備費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	3,000,000	0	0	3,000,000	0.0%
29年度	3,000,000	0	0	3,000,000	0.0%

支出済額はなく、不用額300万円となっている。

6 財産管理

(1) 土地について

本年度末現在高は165,930㎡で、前年度末から増減はなかった。

(2) 建物について

前年度末現在高14,855㎡、本年度末現在高15,416㎡で、宮沢清掃センタービニ・プラ類処理棟分561㎡増加した。

(3) 出資による権利について

本年度末現在高は10万円で、前年度末から増減はなかった。

(4) 物品について

本年度末現在高は小型貨物自動車他11品で、前年度末より増減はなかった。

(5) 基金について

① 新川地区ふるさと市町村圏基金

(単位：円)

区 分	前年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高
地 方 債	500,000,000	0	500,000,000
計	500,000,000	0	500,000,000

7 意見

(1) 施設の維持管理等について

広域圏の各施設の老朽化が進行している中、施設の延命化とそれに係る修繕費が必要であるため、長期的な整備計画を作成し、効果的な保全を行っていくように図られたい。特に、東部斎場は老朽化が進んでおり、その整備が急がれる。将来の斎場利用者数の推移等を考慮し、適正な施設整備の方向性を定めるよう努められたい。

(2) 施設の安全管理等について

宮沢清掃センターでは、2ヵ年継続事業であるビニ・プラ類専用ライン増設工事が完成し、順調に稼働していると認められた。今後の施設運営において、節電や火災のリスクの低減が図られるものと期待している。しかし、火災のリスクは皆無となった訳ではなく、スプレー缶等の出し方については、引き続き広報誌等を通して周知を行うなど、爆発事故の未然防止を図られたい。

また、新川広域圏の生活環境を守るため、宮沢清掃センターだけでなく広域圏の施設全体についても、関係法令を遵守し、安全で適切な管理運営を行うよう努められたい。

8 むすび

以上で平成30年度新川広域圏事務組合各会計歳入歳出決算審査について概要と意見を述べたが、予算の執行に際してはその重要性を認識され、事務事業についても内容の充実した執行が行われており、一層の適正な執行と透明性の確保に努められたい。

各施設の運営管理について、経費の節減等効率的、合理的運営に努力がなされていると思われるが、なお一層の効率的運営を図られ、今後も広域行政の積極的な推進に向け、地域住民の福祉向上に努力されることを併せて望むものである。

別表第1

分担金及び負担金の目的別収入状況

区 分	平成30年度			平成29年度			前年度対比	
	収入済額(円)	収入率(%)	構成比(%)	収入済額(円)	収入率(%)	構成比(%)	増減額(円)	増減率(%)
1. 組合経常費分担金	90,861,000	100.0	7.2	74,605,000	100.0	6.3	16,256,000	21.8
2. 救急医療対策費分担金	24,968,000	100.0	2.0	24,967,000	100.0	2.1	1,000	0.0
3. 西部斎場分担金	26,447,000	100.0	2.1	20,121,000	100.0	1.7	6,326,000	31.4
4. 東部斎場分担金	21,658,000	100.0	1.7	17,479,000	100.0	1.5	4,179,000	23.9
5. エコぽ〜と分担金	475,745,000	100.0	37.8	345,213,000	100.0	29.3	130,532,000	37.8
6. 宮沢清掃センター分担金	480,461,000	100.0	38.2	562,928,000	100.0	47.9	△ 77,802,000	△ 13.8
宮沢清掃センター分担金 (ビニプラ類専用ライン) 遞次繰越	4,665,000	100.0	0.5					
7. 新川一般廃棄物最終処分場分担金	35,056,000	100.0	2.8	36,081,000	100.0	3.1	△ 1,025,000	△ 2.8
8. 旧西部・東部清掃センター解体事業費分担金	12,862,000	100.0	1.0	12,863,000	100.0	1.1	△ 1,000	△ 0.1
9. クリーンぽ〜と分担金	70,518,000	100.0	5.6	70,901,000	100.0	6.0	△ 383,000	△ 0.5
小 計	1,243,241,000	100.0	98.9	1,165,158,000	100.0	98.8	78,083,000	6.7
1. 救急医療負担金	13,715,000	100.0	1.1	13,715,000	100.0	1.2	0	0.0
合 計	1,256,956,000	100.0	100.0	1,178,873,000	100.0	100.0	78,083,000	6.6

分担金収入明細書

(単位：円)

市町名 分担金区分	魚津市	黒部市	入善町	朝日町	合計
1. 組合経常費分担金	29,876,627	29,483,070	19,613,357	11,887,946	90,861,000
2. 救急医療対策費分担金	8,455,936	8,333,299	5,283,473	2,895,292	24,968,000
3. 西部斎場分担金	14,181,033	12,265,967			26,447,000
4. 東部斎場分担金			13,136,161	8,521,839	21,658,000
5. エコぽ～と管理費分担金	151,807,628	156,875,840	106,302,253	60,759,279	475,745,000
6. 宮沢清掃センター分担金	156,289,955	157,400,733	105,976,916	60,793,396	480,461,000
宮沢清掃センター分担金 (ビニプラ類専用ライン) 遞次繰越					4,665,000
7. 新川一般廃棄物最終処分場管理費	11,566,494	11,386,123	7,778,134	4,325,249	35,056,000
8. 旧西部・東部清掃センター解体事業費分担金			8,203,868	4,658,132	12,862,000
9. クリーンぽ～と分担金	24,199,261	18,838,357	15,077,159	12,403,223	70,518,000
合計	396,376,934	394,583,389	281,371,321	166,244,356	1,243,241,000